e-BEEF NEWS From A North Pasture

e-ビーフNEWS 北の牧場から

June 2018

月刊情報誌
No.54

発　行
特定NPO環境リサイクル肉牛協議会
〒080-0047
北海道帯広市西17条北2丁目44-10
TEL/FAX 0155-66-5159

十勝の緑

　ここのところ寒暖差が大きく朝晩で20℃以上も上下します。先日は0℃近くまで下がり畑一面が白く霜が降りました。それでもその日は27度まで上昇、体調を合わせるのに苦労しますね。
大地がやっと緑に覆われグレーの単色の世界からカラー印刷に変身してきました。新緑の黄緑から緑、濃い緑とグラデーションがきれいです。黒色火山土の耕地にも線状の緑のラインがうなっています。牧場の入牧も例年に比べ2週間も早く始まりました。牧草は一気に伸びます。スプリングフラッシュの始まりです。牛たちが食べても食べても追い付かないほど草の勢いが良いです。

活動のお知らせ

6月2日(土)　帯広 ランチョ・エルパソ　10:00～13:30　第19回定期総会&肉牛飼養技術研修会
　　e-びーふ試食・意見交換会
6月2日(土)　帯広畜産大学　アニマルウェルフェア検討会

NEWSばか読み

- 農林水産省　家畜糞尿調査実施　記録が不十分　基準が未達成
  5/2：記録は付けよう
- 農産物の直販　宅急便価格の値上げで農家直撃
  5/2：運賃コストばかにならず
- 農林水産省　生産体制の省力化や労働力対策で見直し策 5/3：
- 鶏卵相場　過去10年で最低の170円/k　高値相場で増産基調
  5/4：市場バランス
- 富山イタイイタイ病認定から50年
  5/8：表向きの公害はなくなったけど
- 米中貿易　摩擦加熱　輸入制限拡大
  5/10：飛び火しなければいいけど
- 農福連携全国ネットが推進に提言　睦び付け体制整備
  5/12：農業の位置付け確認
- FAO　地理的表示(GI)で経済効果　地域振興地価上昇
  5/12：地にあった農業の必要性
- 農林水産省　物流会社に積込み統一マニュアル作成で3割効率化
  5/13：コスト低減
- 農林水産省　農家の自家増殖、種苗を原則禁止　海外流出食止め
  5/15：種使えない
- 農林水産省　アルゼンチンパタゴニア地方の牛肉輸入解禁
  5/15：牛肉大国が迫る
- 農林水産省　3月輸出で台湾向け牛肉リンゴが伸びる
  5/15：台湾需要が貴重
- 宮城県基幹種雄牛として「茂福久」が全国トップのBMS10.9
  5/16：サシ志向
- 石川県　体細胞クローン牛(黒毛19才)老衰で死亡
  5/16：良く生きましたね
- 外国人技能実習生失踪17年過去最高の7,000人超し
  5/17：頼っていいのか
- 観光庁　4月で外国訪日客1,000万人突破 5/17：来るね来るね
- 酪農畜産で労働力不足が深刻 5/18：今の日本にあった酪農業とは
- 農林水産省　ジビエ食肉加工施設に国産ジビエ認証制度設立
  5/19：国管理
- 17年豚肉自給率　PED等の影響で49%に減少
  5/19：半分が輸入物浸透
- 17年温州ミカンの生産が過去最低の74万t後継問題
  5/21：同様な課題が
- 農林水産省　海外認定日本産食材取扱店が1年で20倍3,000店に
  5/22：ブーム
- 厚生労働省　介護保険料が6.4%増の6,000円 5/22：高齢化が進む
- 茨城県　温暖化で飼料用トウモロコシの2期作可能に
  5/23：温暖化の恩恵
- 訓子府ホクレン農場でクロスブリーディング出産
  5/25：肉牛も検討の余地
- 農業外国人常用者　2.1万人(15年度) 5/25：定着化に
- 衣料品大手　通販に対抗し店舗の大型化に 5/27：需要の多様性追求
- 世界大手食品メーカー　ペットフード事業を拡大 5/27：大きな需要域
- 宮城県　養殖用銀ザケに飼料用米活用 5/28：コメ食うのか
- 千葉県　擬豚コレラで防疫体制の見直し 5/28：無難無難
- 十勝農協連　営農に必要な情報を総合支援システムで構築
  5/29：情報の集約化
- 米国産牛肉　4月SG会場で63%急増 5/31：これも定着化に

東京直近NEWS　(5/31　Shi-REPORT)

ホルス　6月枝肉相場は上げ基調続き、枝肉@1000を突破し始めている。販売はロインを中心に引き合いが非常に強まっており、外食や量販からの問い合わせが多く欠品状態。逆にモモ赤身系は5月は一服状況だったが、6月より再度引き合い出てきている。
頭数の慢性的不足と、輸入物も不足していることから引き合がさらに強まっている。

経産牛　経産牛相場は上昇継続。出回りが少なく、例年の2～3割少ないとの声も聞こえ始めている。相場もガリ枝@500以下の発生は皆無に等しくなってきている。販売は赤身中心に完全に不足欠品し始めており、唯一カタロースに若干余裕ある程度の模様。輸入品の不足と高騰傾向から、問い合わせ多くパーツの需要拡大。挽き材についても同様で、コストアップしており市中の在庫も少なくなってきている模様で、値上げ可能性が強くなってきている。

左先生の畜産学研究NEWS

5月29日の新聞社説に政府が閣議決定した2017年度農業白書(食料・農業・農村)の論評がありました。「農業白書」は農業の動向に関する報告ですが、これに対する政府の施策を示した2部構成です。2017年はEUとの経済連携協定や米国抜きのTPP11など国際協定の合意で日本農業はその影響を懸念する心配の多い年でした。今回の白書はこれらの概要説明や政府の関連施策の紹介に終始し、日本農業の未来展望への考察はみられません。国産農産物のシェア拡大や海外向けへの輸出拡大もさることながら高齢化と人手不足の現実に悩む生産現場の農家はこの白書を読んでも将来の解決には繋がらないと思うでしょう。e-びーふNews54号の学術情報は平成29年度畜産関係新技術発表会 (北海道畜産技術連盟: 平成30.2.23)、日畜大会124回講演要旨、「畜産技術」#756、日畜会報89:2(2018.5)、からの抜粋です。

1. 平成29年度畜産関係新技術発表会(平成30.2.23, 於; 北農ビル)
飼料米の肉用牛、乳用牛への給与効果(堂地修, 酪農大)

黒毛和種去勢・雌肥育牛をビール粕サイレージと肥育用配合飼料で肥育し、配合飼料の50%を飼料米混合サイレージで置き換え給与しました(破砕玄米換算で25%)。その結果、置き換え給与では平均日増体量が低下せずに、牛肉中の不飽和脂肪酸やオイレン酸の割合が増す効果がありました。

2. 日本畜産学会第124回大会講演要旨(2018.3.28~30) 東大弥生キャンパス

1) 公開シンポジウム「畜産物の質的保証: 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて」今回は演題名だけで、解説は次号にします。
(1)「2020年東京オリンピック・パラリンピックの畜産物の調達基準に関連した取組」関川寛巳(農水省生産局畜産部)
(2)「畜産に関するGAP認証制度「JGAP家畜・畜産物」について」荻野宏(一財 日本GAP協)
(3)「ハラル認証と流通・販売−和牛輸出に向けて−」小澤壮行(日獣生科大)
(4)「畜産物のアニマルフェア認証−国内外の動向−」竹田謙一(信大)

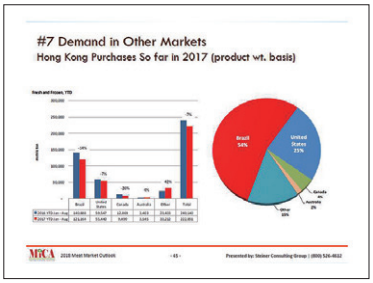
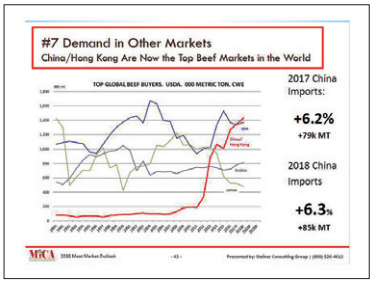
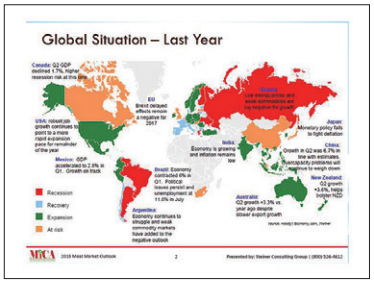
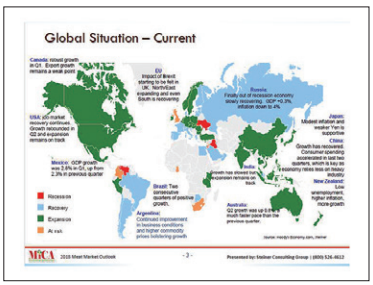
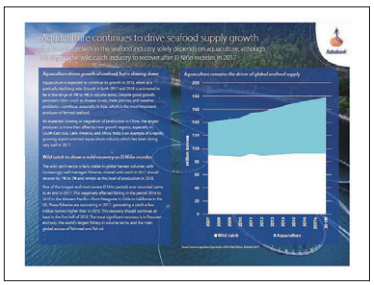
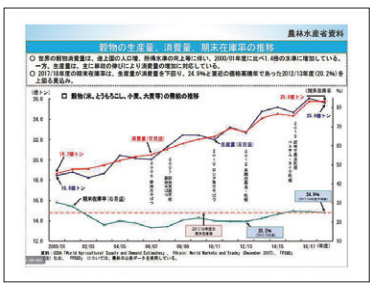
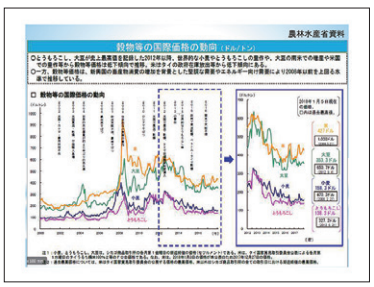
2) I28- 05 黒毛和種, 日本短角種, 褐毛和種の哺育育成方法の違いが枝肉切開面画像情報に及ぼす影響(撫　年浩他、宮大)(山根逸郎, 食農ビズネスセ)
黒毛、短角、褐毛の3品種間で母牛哺育+放牧・乾草(自然区)と人工哺育+濃厚飼料哺育(人工区)が肥育後の枝肉画像に及ぼす違いを検討しました。褐毛和種牛では両者の違いはみられず、黒毛和種牛では筋肉面積割合が高く脂肪面積割合が低い傾向がみられました。

3. 畜産技術#756,2018.5
国内情報2: 牛ゲノムを活用した新たな育種戦略-1 (2018年座談会:穴田勝人、大竹匡已、大山憲二、小林栄治、柴田正貴、杉本喜憲、俵積田守、安森隆則)

畜産技術協会企画の座談会記録で、今回は牛ゲノム育種の経緯のうち黒毛和種の品種確立の経緯です。黒毛和種の源は江戸時代後期の在来和牛の蔓牛、明治期の外国種との交配を経て、昭和になって他の和牛と共に固定種になり、育種改良で肉用種へ展開しました。毛色遺伝子と産肉形質とは無関係です。次号は肉牛の産肉能力の育種価評価におけるBLUP法の解説です。

4. 日本畜産学会報(2018.5) 89:2, 235-243
「食肉におけるブランディング活動と業績の関係性の解析 (松井繁幸他、静岡県大)

日本各地で牛・豚・鶏肉の40%以上が銘柄化して競争力強化を図っています。全国958銘柄食肉の管理担当者へのアンケート調査から食肉のブランドづくりの重要点を重回帰分析で検討しました。食肉のブランディング活動のうち1)独自コンセプト, 2)実食・交流, 3)組織間連携, 4)デザイン性, の4項目が正の影響があり、1)独自コンセプトの重要性が最も影響力が高いと思われました。

国産牛 NEWS

2018年度　国産牛情報予想　全6回シリーズ⑤
マルハニチロ㈱ 国産牛肉課　岩崎課長代理